

大規模集客施設を誘導すべき地域要件

施設の総床面積 立地判断の要因		10,000㎡超		10,000㎡以下 5,000㎡超		5,000㎡以下 1,500㎡超		備 考	
都市機能の集積 「コンパクト性」	指標1 都市機能の集積状況	①集客施設の数	100施設以上	25施設以上	8施設以上	敷地から半径1kmの範囲内			
		②公益施設等の数	40施設以上	8施設以上	4施設以上	敷地から半径1kmの範囲内			
	指標2 人口の集積状況	集客施設又は公益施設等を反復継続利用する者の居住する地域を包含する区域の居住人口	3万人以上	2千人以上	1千人以上	敷地から半径1kmの範囲内 学校を除く			
	指標3 都市基盤の整備状況		水道が整備され、生活排水処理施設の対象区域であること。						
移動の円滑化 「交通アクセス性」	指標4 公共交通機関の施設との位置		敷地から半径2km以内に鉄道駅(利用者が4,000人/日以上)又は路線バス停留所(利用者が200人/日以上)がある	敷地から半径1km以内に鉄道駅又は路線バス停留所(利用者が70人/日以上)がある	敷地から半径1km以内に鉄道駅又は路線バスの停留所(利用者が30人/日以上)若しくは路線バスの停留所が5箇所以上ある	バス停の利用者数は、500mの範囲内で隣接するバス停の利用者の合計数			
	指標5 公共交通機関のアクセスの頻度	①公共交通機関の路線数	5路線以上	2路線以上	2路線以上	鉄道及び路線バスの路線数			
		②公共交通機関の全ての運行頻度	1時間当たり最大6便以上	1時間当たり最大3便以上	1時間当たり最大2便以上	鉄道及び路線バスの路線数			
	指標6 道路交通基盤の状況	①2車線以上の道路密度	6km/km ² 以上	4km/km ² 以上	2km/km ² 以上	敷地から半径2kmの範囲内			
②周辺の主要交差点の集客時飽和度		集客施設に予定集客数があった場合の交通量が最も多くなる時間帯の交通解析により、サイクル長(当該主要交差点において信号表示が一巡する時間をいう。)から損失時間(サイクル長のうち実質的に通行できない時間をいう。)を減じた時間をサイクル長で除して得た値(集客時飽和度上限値)未満であること。					敷地から半径2kmの範囲内		